

東北六魂祭で「元気な田村市」をPR



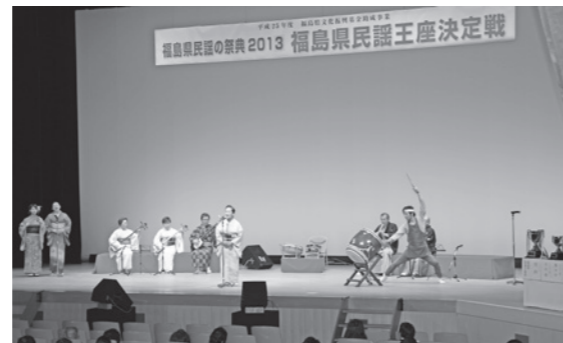
6月1日と2日に開催された東北六魂祭に、市から鬼五郎幡五郎和太鼓保存会、特産品販売ブースを担当する市商工観光課と滝根・常葉振興公社の職員が参加しました。鬼五郎幡五郎和太鼓の9人は、メインステージとサブステージに出演。鬼の面を着けてのダイナミックなパフォーマンスと力強い太鼓の音色は、県内外から訪れた大勢の観客を魅了しました。また、ふくしまふるさと広場では、市の観光キャンペーンクルーがブース前で特産品や観光をPR。市オリジナルのみちのく夢二浪漫サイダーやカブトムシ幼虫セットなどは、子どもたちや孫を持つお年寄りの方に大人気でした。

古里への熱き思い「おおごえ会」



第22回ふるさとおおごえ会総会が6月2日、東京霞ヶ関の東海大学校友会館で開かれ、会員と来賓、市関係者約40人が出席しました。総会では役員改選を行い、終了後の懇親会では古里のビデオが放映され、懐かしい風景や昔を思い浮かべながら思い出話に花を咲かせました。また、会場では古里産品の販売も行われ、すぐに完売するなど大盛況で閉会しました。

情緒豊かに美声を披露



県民謡の祭典2013が6月2日、市文化センターで開かれ、103人が自慢ののどを披露しました。民謡王座決定戦の部門には、ジュニアの部(中学生以下)に6人、中年の部(65歳以下)に41人、高年の部(66歳以上)に54人が出場。ジュニアの部では、大越町の石井佑果さんが「いわき盆唄」を歌い見事優勝、都路町の根内唯花さんが「白川田植唄」を歌い第3位に輝きました。中年、高年の両部の予選上位成績者各10人での決勝戦も行われ、上野義明さん(喜多方市)が総合優勝しました。

スポーツ振興に貢献・功労で表彰



市体育協会(佐久間会長)は5月28日、大越行政局で総会を開き、24年度市体育協会表彰を行いました。(敬称略)

●スポーツ功労賞・木村久治(田村市体育協会理事) ●優秀選手賞(団体)表彰・日東粉化工業(株)福島工場野球部(軟式野球競技)、大倉プライム(ゲートボール競技) ●優秀選手賞(個人)表彰・早川英一(バドミントン競技)、石井勝彦(バドミントン競技)

正々堂々と全力でプレー



第6回市スポーツ少年団本部長杯大会の総合開会式が6月2日に市総合運動公園陸上競技場で開かれ、団員、指導者、保護者約500人が参加しました。三瓶本部長があいさつし、大越ミニバスケットボールスポーツ少年団の櫻井駿さんが選手宣誓をして健闘を誓いました。式終了後は各会場で熱戦が繰り広げられました。●ソフトボール(優勝)滝根スポーツ少年団 ●サッカー(優勝)船引sssAチーム ●野球(優勝)船引スポーツ少年団 ●卓球(小学生男子高学年の部優勝)佐久間祐希さん、(小学生女子高学年の部優勝)大河原璃乃さん ●ミニバスケットボール(男子の部優勝)ふねひきミニバスケットボールクラブスポーツ少年団、(女子の部優勝)大越ミニバスケットボールスポーツ少年団

中野区“花と緑の祭典 2013 春”



市と姉妹都市の東京都中野区で5月18日と19日にイベントが開かれ、常葉の中野まつり等参加実行委員会が参加しました。

晴天に恵まれたイベント会場では、4月から販売のみちのく夢二浪漫サイダーをはじめ、カブトムシの幼虫やイワナの塩焼き、新鮮野菜など市の特産品が出品され、訪れた皆さんに好評でした。

また、あぶくまの天然水とパンフレットを無料で配り、市の特産品と観光PRに努めました。